

# [ 江別市 ] 施策達成度報告書

**政策** 06 市民協働によるまちづくり

**施策** 03 国内・国際交流の推進

主管課 秘書課

## 施策の環境変化と課題

施策の環境変化 (21年度)	施策の課題 (21年度)
<p>1) 平成23年度からの小学校の英語必修化を前に、各小学校において教師と外国人指導者とが連携し、英語教育の進め方などについて検討が行われている。</p>	<p>1) 地域の国際化 国際感覚を持った市民を育成し、外国の生活や文化を理解することで、日本人と外国人の双方が安心して快適な暮らしができる地域社会を築く。</p> <p>2) 人材育成 外国人とコミュニケーションを図る力やグローバルな感覚を身に付け、日本の発展や国際社会に貢献できるような人材の育成を図る。</p> <p>3) 異文化理解の推進 国内・国外の異なる生活や文化などを知ったり、そこで暮らす人たちと接する機会を設けることで、それぞれの地域の現状や課題について見識を深める。</p>

## 施策の目的

友好都市などとの交流により、国内の郷土や歴史の違いの相互理解を進めるとともに、姉妹都市や市内在住の外国人などとの交流により、外国との文化、言葉の違いを理解し、誰もが快適に暮らせる地域を目指します。

## 対象 (誰を対象とした指標か)

市民、市内居住外国人

## 意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

外国の文化を受け入れられ(外国や異文化の理解)、コミュニケーションを理解できるようにして、外国人とともに快適な生活を送ることができる。

## 施策の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

施策の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
外国のことを理解し、お互いの歴史や風土を尊重して交流できる市民割合	%	16.9	18.9			↗
土佐市やグレシャム市が友好姉妹都市であると知っている市民割合	%	-	83.6			↗

## 施策の達成状況 (21年度)

市民の外国人との交流の割合は上昇傾向にあり、外国の生活や文化に対する関心の高まりや国際感覚の向上などがうかがえる。また、姉妹都市や友好都市に関する認識も高い割合を示しており、市民への浸透が図られてきている。

施策事業コスト	20年度決算額	21年度決算額	22年度当初予算
トータルコスト(千円)	28,981	25,890	25,980
事業費(千円)	10,927	10,040	10,075
人件費(千円)	18,054	15,850	15,905

## 01 人材・団体の育成

### 基本事業の目的

国際感覚を持ち、外国人と良好なコミュニケーションが図れる人材や団体を育成します。

### 対象 (誰を対象とした指標か)

市民、市内通勤通学者

### 意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

外国人とコミュニケーションを図る力を身につける。  
国際交流や国際理解を推進する担い手が増える。

### 基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
外国人とコミュニケーションが出来る人の割合	%	10.2	12.1			↗
国際交流団体の登録者数	人	317	334			370

### 基本事業の達成状況 (21年度)

小中学校での英語教育や国際センターをはじめとした外国語教室・国際交流事業などを通じ、外国人とコミュニケーションを図ることができる市民割合が増加してきている。

基本事業コスト	20年度決算額	21年度決算額	22年度当初予算
トータルコスト(千円)	0	3,217	3,235
事業費(千円)		1,972	1,986
人件費(千円)		1,245	1,249

## 02 在住外国人への情報提供の充実

### 基本事業の目的

言葉や生活習慣の違いによる支障やトラブル、不安を解消し、誰もが安心して暮らせる街にします。

### 対象 (誰を対象とした指標か)

外国人

### 意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

外国人が安心して住めるようになる。

### 基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
外国語による情報媒体提供件数	件	17	7			20
外国人相談によって問題が解決した割合	%	100	100			100

### 基本事業の達成状況 (21年度)

市のホームページなどを利用して、英語と中国語による生活情報や行政情報の提供(子ども手当等)を行ってきたほか、外国人からの相談に応ずるなど、地域住民と外国人とがトラブルなく快適に暮らせるよう努めてきた。今後も外国人が安心して暮らせる環境を提供していく。

基本事業コスト	20年度決算額	21年度決算額	22年度当初予算
トータルコスト(千円)	0	8,578	8,618
事業費(千円)		4,843	4,871
人件費(千円)		3,735	3,747

基本事業の目的

様々な国や人、地域と触れ合い、相互の文化や歴史を理解する人材を育成します。

対象 (誰を対象とした指標か)

市民、市内通勤通学者

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

交流の機会等を通して、多くの市民が多様な文化を理解するようになる。

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
友好都市との交流者数	人	1,752	1,397			1,800
世界市民の集いなど交流イベントの参加者数	人	813	864			880
社会人向け外国語講座の参加者数	人	225	250			270

基本事業の達成状況 (21年度)

小中学校での英語教育、姉妹都市や友好都市との中学生・高校生の相互交流、国際交流団体等が行う各種の事業などを通じ、市民が外国人や異文化の生活・習慣に触れる機会の確保に努めている。今後も多様な生活や文化に対する理解の向上と交流を推進していく。

基本事業コスト	20年度決算額	21年度決算額	22年度当初予算
トータルコスト(千円)	0	14,095	14,127
事業費(千円)		3,225	3,218
人件費(千円)		10,870	10,909

基本事業の目的

対象 (誰を対象とした指標か)

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	年度	年度	年度	後期目標値

基本事業の達成状況

基本事業コスト	年度決算額	年度決算額	年度当初予算
トータルコスト(千円)			
事業費(千円)			
人件費(千円)			